

2016年11月11日

2016年12月期 第3四半期

決算短信補足資料



2016年12月期 Q3(1-9月)連結決算

Consolidated Financial Results for Fiscal Year 2016(Jan-Sep)

連結決算(IFRS)エグゼクティブ・サマリー

- **売上高:1,662百万円**

- ✓ 主力事業は順調に拡大
- ✓ ソーシャルビッグデータ販売の一部商品における契約形態の変更(グロス表示(前期)からネット表示(今期))による減少
- ✓ 円高の影響による減少

- **営業損失:590百万円**

- ✓ 主に、のれんに対する減損損失593百万円計上

- **EBITDA:278百万円**

第3四半期 連結業績サマリー(PL) (IFRS)

(単位:百万円)

	2016年12月期Q3	2015年12月期Q3	前年同期比
売上高	1,662	1,829	△9.1%
販売費及び一般管理費	804	806	△0.2%
その他費用・収益 (うち減損損失)	593 (593)	0 (-)	-
営業利益(△は損失)	△590	117	-
金融費用・収益 (うち為替差損)	48 (27)	58 (33)	-
四半期利益(△は損失)	△620	6	-
EBITDA	278	378	△26.5%

第3四半期 連結業績サマリー(BS) (IFRS)

(単位:百万円)

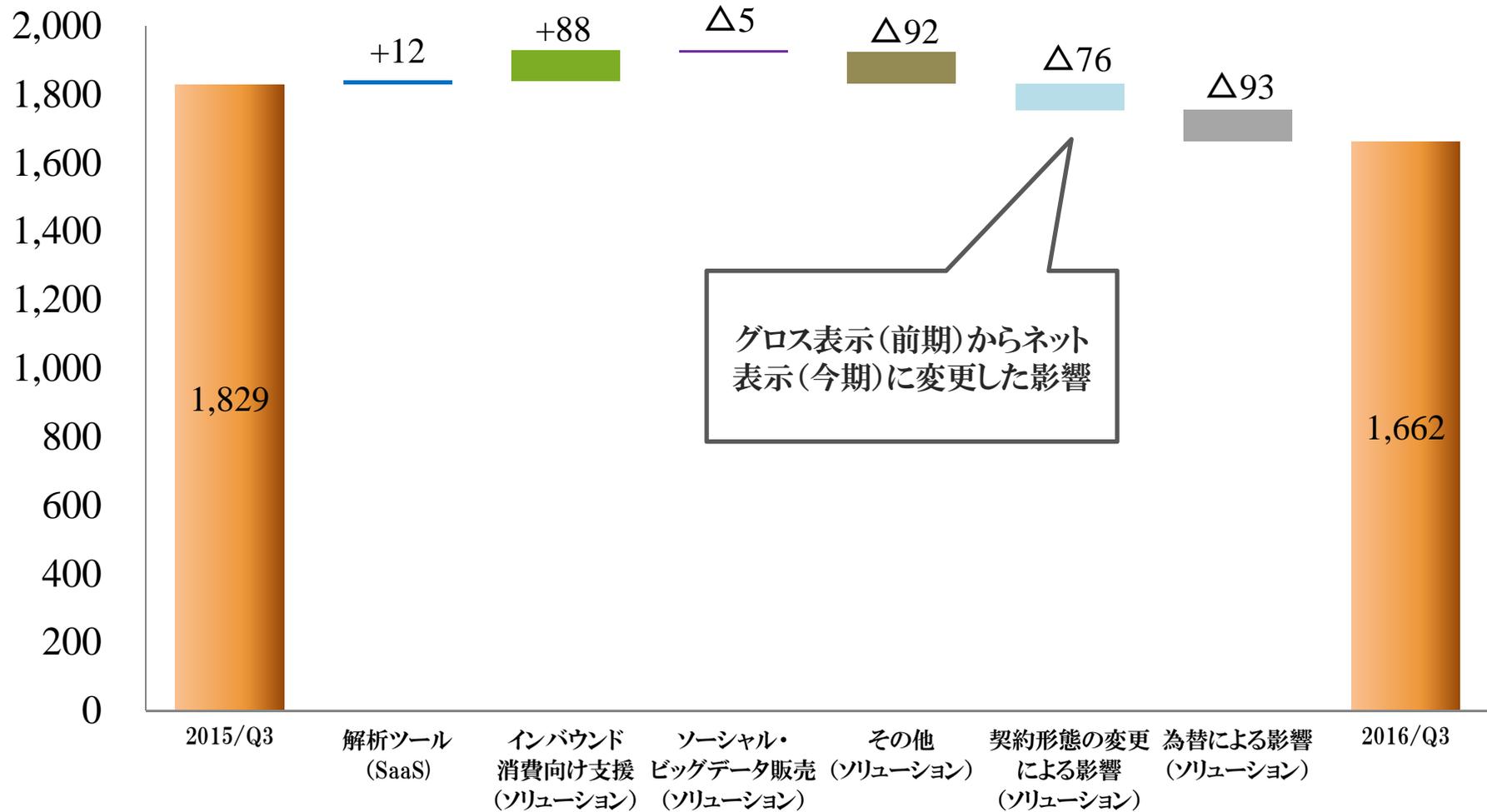
	2015年12月期	2016年Q3末	前年比
流動資産	949	1,484	+534
非流動資産	3,796	2,701	△1,094
資産合計	4,745	4,185	△560
流動負債	2,716	1,641	△1,075
非流動負債	567	777	+210
負債合計	3,284	2,419	△864
資本合計	1,461	1,766	+304
負債資本合計	4,745	4,185	△560

主な変動要因は、

- ①短期借入金の返済979百万円により流動負債が減少
- ②新株及び新株予約権の発行による資金調達1,235百万円により資本が増加

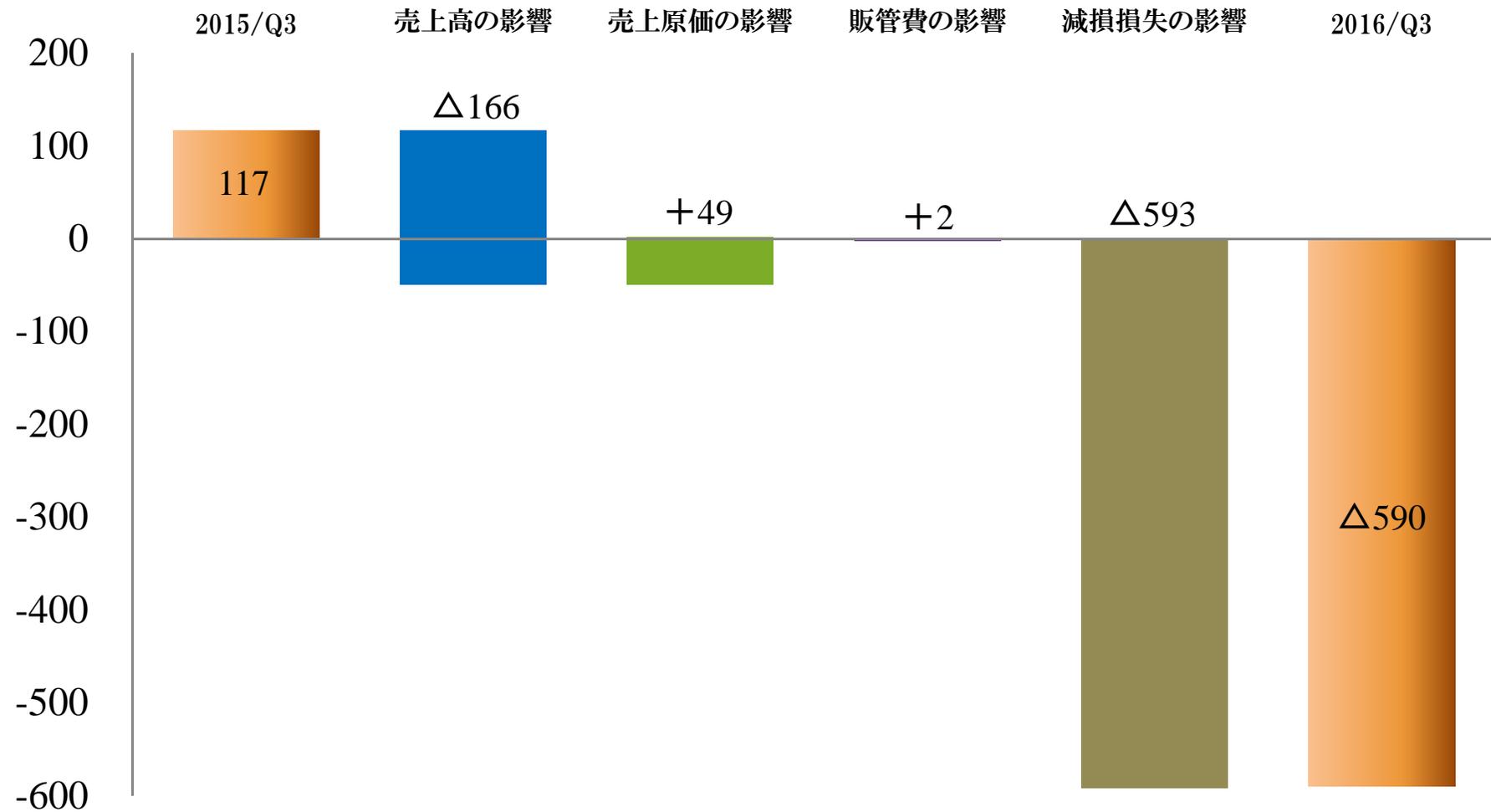
売上増減分析(対前年同期比)

(単位:百万円)



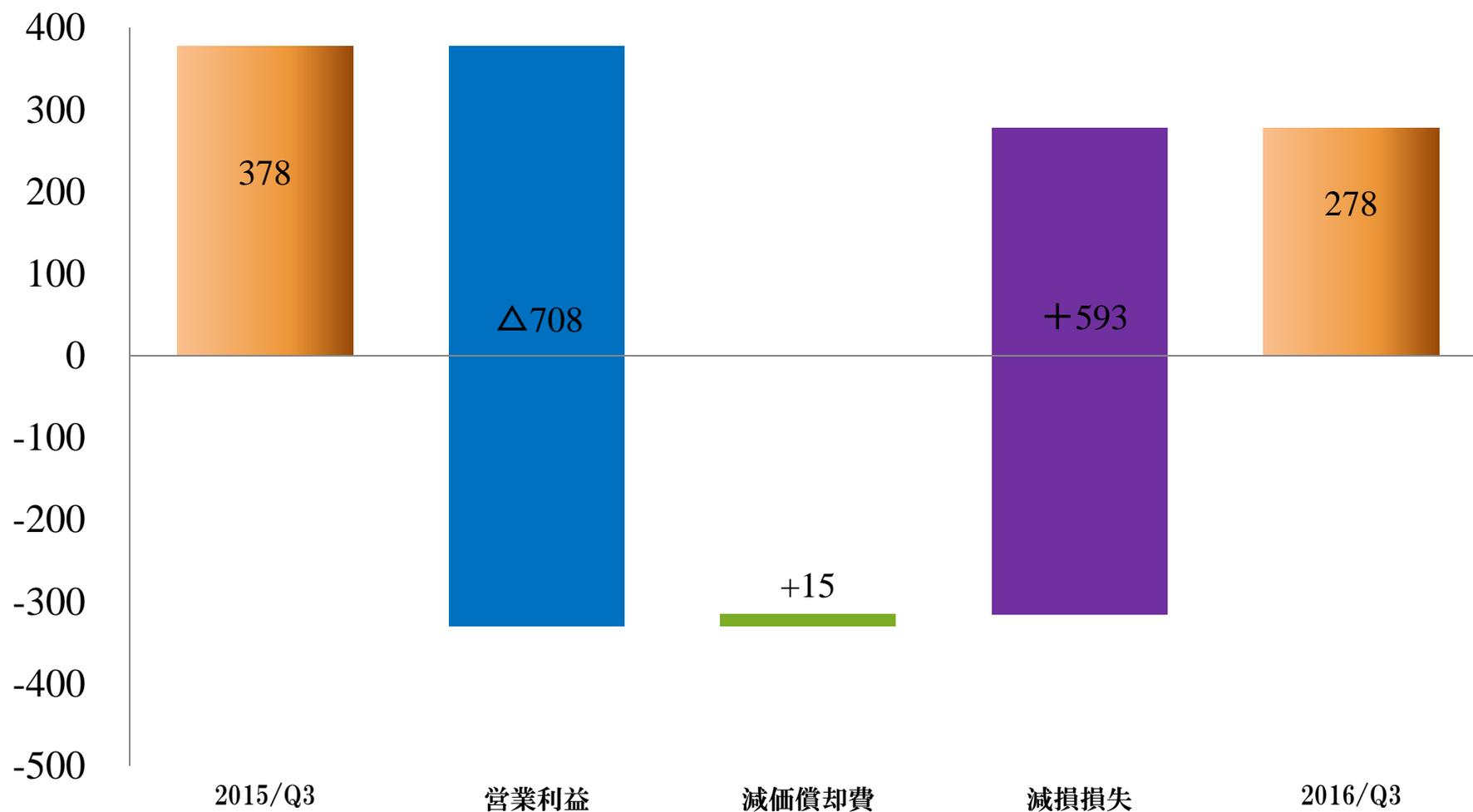
営業利益増減分析(対前年同期比)

(単位:百万円)



EBIDTA増減分析(対前年同期比)

(単位:百万円)



減損損失について(Q2計上済み)

Effyis社に対するのれんの減損損失5.9億円をQ2で計上

2016年6月時点の事業計画に基づいた減損テストを実施し、
公正価値の評価を算定



評価の結果、5.9億円(5百万米ドル)を減損処理



この結果、公正価値は17億円(17百万米ドル)となる

為替変動リスクに対する現状認識と今後の対応

為替変動による影響を受ける要素	現状認識	今後の対応
<p>1. 外貨建て資産・負債の円建て評価の変動による為替差損益</p>	<p>1. 当社事業規模では、為替変動による損益への影響は大きいと認識している</p>	<p>1. 資産・負債の残高のバランス化を引き続き検討していく</p>
<p>2. 米国子会社事業の売上・費用の円建て換算の変動による連結売上・費用の変動</p>	<p>2. 円高に振れば業績は下方リスクとなり、円安に振れば上方要素となる</p>	<p>2. 業績予想に対するリスクを最小限にするため、下期計画の予想為替レートを1ドル100円に設定する</p>